

木犀会と教育文化学部連絡協議会の報告

10月23日(金)、18:00～ 「ホテル浜荘」に於いて「教育文化学部との連絡協議会」を行いました。学部が平成28年度から教員養成の「教育学部」として特化して新生することに対して、木犀会としてはこれまで以上に終身会員・現職会員・学生準会員との絆づくりが求められており、今後の組織のあり方が問われています。

会員の皆様も、この現状を知っていただき、一層木犀会への御協力と御支援をお願いします。

出席者は次の通りです。

○ 教育文化学部

教育文化学部長	添田 佳伸 (そえだ よしのぶ)
教育学研究科長	幸 秀 樹 (ゆき ひでき)
副学部長(教務担当)	米村 敦子 (よねむら あつこ)
副学部長(評価担当)	中山 迅 (なかやま はやし)
副学部長(研究担当)	三輪 佳見 (みわ よしみ)
附属学校園統括長	河原 国男 (かわはら くにお)
評議員	石川 千佳子 (いしかわ ちかこ)
教育協働開発センター長	新地 辰朗 (しんち たつろう)
事務課長	下川 新吾 (しもかわ しんご)
教職大学院担当係長	濱崎 麻紀子 (はまさき まきこ)
教務担当係長	永井 章仁 (ながい あきひと)
学生担当係長	本田 周一郎 (ほんだ しゅういちろう)

木犀会

会 長	緒方 明夫 (おがた あきお)	32卒
副 会 長	前 田 稔 (まえだみのる)	40卒
副 会 長	平原 博子 (ひらばら ひろこ)	32卒
理 事(会報担当)	平 田 睦 (ひらた むつ)	32卒
理 事(会報長)	吉川 義信 (よしかわ よしのぶ)	35卒
理 事(HP担当)	安部 千恵子 (あべ ちえこ)	36卒
理 事(会報担当)	柿木 衛護 (かきのき えいご)	43卒
理 事(会報担当)	児玉 和子 (こだま かずこ)	47卒
理 事(会報担当)	高橋 和平 (たかはし かずひら)	49卒
理 事(HP担当)	白石 知子 (しらいし ともこ)	50卒
理 事(HP担当)	中原 邦博 (なかはら くにひろ)	51卒
理 事(HP担当)	上元 麻智子 (かみもと まちこ)	51卒
理 事(会報担当)	佐多 裕之 (さた ひろゆき)	52卒
事務局長	熊本 新一 (くまもと しんいち)	49卒

◆ 会次第

1 会長あいさつ・緒方会長



- 学部再編に伴う組織の強化・人脈づくり
 - ・ 学生（準会員）の理事会等への参加
 - ・ 学生支援の在り方
 - ・ 終身・現職・学生会員相互の絆づくり
- 支部組織の再編

2 学部長あいさつ・添田学部長



- 学部再編の中での木犀会との協力体制づくり
 - ・ 学部再編の概要の周知
 - ・ 学生定員と今後の木犀会員の減少
- 学生への協力支援のプログラム化

3 出席者紹介

- ・ 木犀会 熊本事務局長
- ・ 教育文化学部 下川事務課長



(学部の先生方)

4 議 事

① 木犀会からの報告

- 木犀会活動（熊本事務局長）
 - i 本年度の組織について
 - ・ 役員・支部役員・評議員
 - ii 事業報告
 - ・ 総会・附属小学校実習生講義室、6月7日（土）
 - ・ 新霊合祀慰霊祭・附属小学校体育館、11月9日（日）
 - iii ホームカミングディ・330交流記念会館、11月16日（日）
 - iv 母校創立130周年記念同窓会・JAAZMホール、2月28日（土）
 - v その他の事業
 - ・ 学生への就職支援活動・採用試験前の面接等指導、7・8月
 - ・ 外国人留学生支援・神話伝説めぐり
- 会報第114号（吉川担当理事）
 - i 会報発行に際しての原稿提出等のお礼
 - ii 会報の内容についての紹介



- ホームページ（前田副会長）
 - i 開設の経緯とねらい
 - ii トップ画面のリニューアル
 - iii 現在のアクセス状況とお願い



木犀会の理事

② 学部からの報告

- 学部再編状況
 - i 三コースの教育学部へ特化
 - (1) 小中一貫教育コース・小学校主免専攻（定員50名）
中学校主免専攻（定員40名）
 - (2) 教職実践基礎コース（定員10名）
 - (3) 発達支援教育コース・子ども理解専攻（定員10名）
特別支援教育専攻（定員10名）
 - ii いずれのコースも「小学校教諭免許状」の取得が義務
 - iii 教育実習が一週間程度増える見込

○ 小中一貫教育コース

- ・ 小・中9年間で視野に入れた教育実践力を持った教員を養成
- ・ 児童期・青年期の発達をふまえた教材・教具、教育方法の工夫ができる高い授業力を備えた教員の養成

○ 教職実践基礎コース

- ・ 現代の教育課題に対応するための教育の処理論と実践力を兼ね備え、地域に根ざす学校づくりの中心となる教員の養成
- ・ コース専任教員と教職大学院専任教員による授業や教育現場と連携して行う具体的・実践的な授業づくり・学級づくりなどを通して、教職としての高度な実践力の基礎を育成

○ 発達支援教育コース

- ・ 幼児期から児童・青年期までの発達上の特徴や障がいのある子どもの特性をふまえた深い子ども理解ができ、一人一人の子どもの教育的ニーズにあわせた支援・指導ができる教員の養成
- ・ 子どもの生活を支えるカウンセリングマインドと技能、心の問題を予防し対処する能力の育成
- ・ 幼稚園、認定こども園と小学校との連携、家庭との協働を実現するコミュニケーション能力の育成
- ・ 障がいのある子どもの実態や教育的ニーズを的確に把握して、指導・支援できる力の養成
- ・ 地域の特別支援教育を支える高い専門性を有する人材の育成

◆ 懇親会



(開会のことば：幸教育学研究科長)



(会食・懇談②)



(乾杯の音頭：下川事務課長)



(会食・懇談③)



(会食・懇談①)



(閉会のことば：前田副会長)

【 お願い 】

「木犀会新霊合祀慰霊祭」への参加申込が少ないです。11月7日(土)の11:00~です。参加お願いします。

【 お知らせ 】

「母校創立131周年記念祝賀同窓会」はJAAZMの借用関係で2月28日(日)に変更になりました。